
鋸山 三浦半島から房総半島へのお招き

新年ハイク

岩田芳子

- 平成 27 年 1 月 21 日(土)
- 天気 晴れ
- メンバー 嶋田, 島崎, 横堀, 斎藤整紀, 白井, 岩田, 井上(順) 夫妻と友人 4 名
- 山行
品川 8:08 京急線----京急久里浜駅改札口 9:05(集合)----バス---久里浜港 9:25----東京湾フェリ-(45 分)---金谷港 10:10 金谷港出発 10:30---車力道----石切場分岐点---地球が丸く見える展望台(昼食)-----鋸山山頂----石切場分岐点----石切場跡-14:00---日本寺北口管理所----百尺観音, 地獄のぞき-----大仏---西口管理所から下山-----金谷港 15:20---東京湾フェリー-(40 分)----久里浜港---久里浜(駅)---品川
フェリーを使った山行は今までなかったのとても楽しみでした。東京湾フェリーの旅。甲板の上からだんだん大きく見えてくる富士山や船の上を飛ぶ海鳥, 周りを行き交う大きな貨物船を見ながらのあっという間の 45 分でした。金谷港から車力道登山道入り口へ、鋸山には車力コースでの登ることにしました。鋸山では江戸時代後期から房州石の切り出しがおこなわれていました。ねこ車に載せて麓まで石を運搬するのが車力(しゃりき)と呼ばれ、女性たちの仕事でした。急な坂道をねこ車

の後ろを引きずり、ブレーキをかけながら下ろしたブレーキの跡で石階段が深くえぐられていました。当時の女性たちの大変さが伝わってきました。石切場跡では当時の職人の技術とそのスケールの大きさにおどろかされました。石切職人の苦勞が伝わってきました。山の上には展望台があり、東京湾から三浦半島、富士山や近郊の山々が広く見渡すことができました。また地球が丸いことを実感しました。鋸山の山頂はここから東の方 15 分ぐらいにありました。急なアップダウンがあり鋸を実感しました。石切場跡まで下り、西に向かって日本寺北口との分岐点に到着しました。鋸山の登山道は石の階段が多く段差も高い、急なアップダウンも多く低山にしては大変でした。4 名がここで待つことになりました。8 人は日本寺に行きました。石を切り出したあとに彫った百尺観音の大きさにびっくりしました。地獄のぞきの展望台に行き、ここで 2 人が日本寺北口に戻り関東ふれあいの道で下山しました。あとの 6 人は石大仏を見て西門を通過して下山しました。どこまで行って、どうやって下山をするのかをはっきり伝えなかったことに対し反省。次回は注意したいと思います。